



CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政



ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 実務者説明会

2024年3月末漁業生産統計(属人)

2024年3月漁業生産統計(属人)

2024年3月末の対前年比較属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報



日南支所集約型資材統合

本会オリジナルPB商品『エコフィッシュ宮崎』がみやざきゲンキTVで放送されました。

MERGER PROPULATION

合併推進部



合併進捗状況について、合併財務調査の実施について

宮崎県一漁協合併推進協議会第13回作業部会の開催

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



新人紹介

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



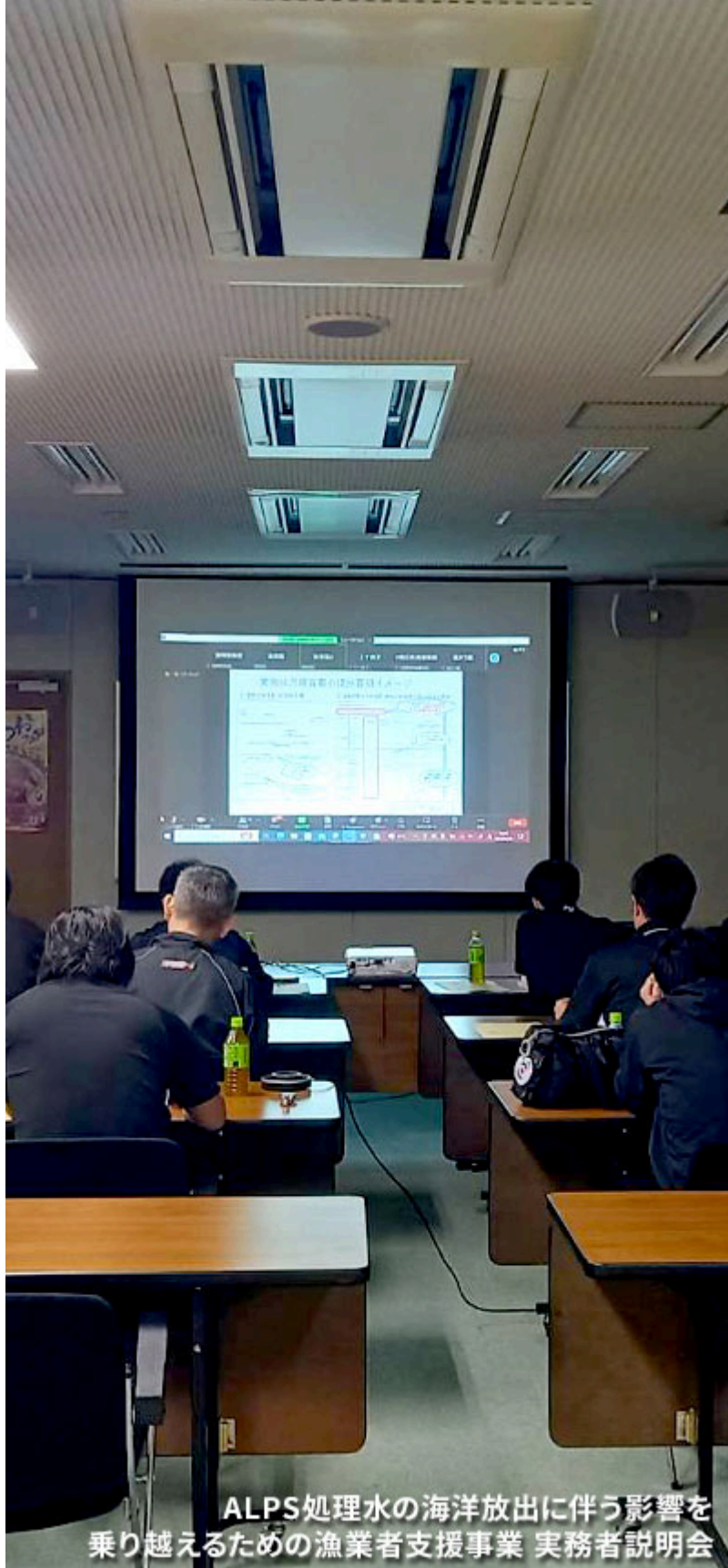
2023年近海かつお一本釣漁業のピンナガ漁場分析 —経営流通部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関



4月の動き(漁連関係)



ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 実務者説明会



ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるため の漁業者支援事業 実務者説明会

宮崎県漁連漁政部は4月15日（月）、水産会館4階第一研修室において、「ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業に係る実務者説明会を開催した。

経済産業省が創出したこの事業には500億円の基金が設立され、廃炉に至るまでの長期間にわたり4つの支援事業（高付加価値等支援事業、省燃油活動等支援事業、省資源・利用効率化等支援事業、省エネ機器等導入支援事業）により、ALPS 処理水の海洋放出で不安を覚える全国の漁業者を支援するものとなっている。

今回の実務者説明会は、事業を管轄する一般社団法人漁業経営安定化推進協会（漁安協）よりWEB形式にて、事業実施期間終了後の実施状況報告の手順について説明が行われた。

事業の実施主体が地域水産業再生委員会となっていることから、ALPS 基金事業を実施している地域水産業再生委員会関係者（県・市・町の職員、漁協職員）が参加し熱心に説明を聞き入っていた。

2024年3月末漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			6,039 683,940	0 24	37 18,922		212 114,746	0 7	4 6,673	6,293 824,313
島浦町		94 92,809	451 56,785	4 2,442			52 26,729	119 128,327	3 3,188	723 310,280
延岡				1 597	4 2,363	128 46,017			1 2,411	133 51,388
延岡市	13 7,154	24		0 190	7 2,950	70 33,290	183 87,241	0 754	8 7,813	282 139,417
庵川	31 15,678	180 110,504		0 19	10 5,804		33 20,047	31 22,075	11 9,626	295 183,752
門川		15 15,333		1 681	5 2,221				9 12,641	31 30,876
日向市	124 88,557	1,058 826,063		0 112			150 78,412	10 8,138	9 13,326	1,351 1,014,608
都農町		117 79,772		2 1,603					5 5,482	124 86,857
川南町		960 744,456		35 25,820	0 194				28 26,078	1,023 796,548
一ツ瀬				1 1,380	3 1,633				17 13,590	21 16,603
櫛浜				1 912		14 2,297			6 5,276	21 8,486
宮崎		135 138,738				94 23,180			13 15,942	242 177,860
宮崎市		38 28,436	551 74,048	7 5,048	2 1,259	26 4,103	29 16,946		2 4,454	656 134,292
日南市	289 139,590	584 405,594		8 8,209			26 16,457		28 24,748	935 594,599
南郷	932 464,547	298 153,888		41 45,060			159 75,613		24 20,343	1,454 759,450
外浦	273 119,258	30 40,994					131 42,719		0 120	435 203,091
串間市東		40 26,574		7 15,389			248 105,574		56 42,664	351 190,201
串間市				1 1,221	2 1,182	2 3,277	2 1,502	2,402	2	2,410
合計数量	1,661	3,548	7,042	110	70	333	1,225	2,562	228	16,778
〃 金額 (魚価)	834,785 503	2,663,185 751	814,773 116	108,706 992	36,529 523	112,165 337	585,986 478	1,702,394 664	219,860 966	7,078,382 422
前年数量	1,777	3,014	5,499	133	111	129	1,175	3,105	272	15,214
〃 金額 (魚価)	733,919 413	2,858,704 949	772,391 140	120,794 909	34,295 309	59,218 460	578,186 492	1,664,866 536	239,645 882	7,062,017 464
数量増減	-116	534	1,542	-23	-41	204	50	-543	-44	1,564
〃 対比 (%)	-6.5	17.7	28.0	-17.5	-37.1	158.8	4.3	-17.5	-16.2	10.3
金額増減	100,866	-195,519	42,382	-12,088	2,233	52,947	7,800	37,528	-19,785	16,365
〃 対比 (%)	13.7	-6.8	5.5	-10.0	6.5	89.4	1.3	2.3	-8.3	0.2
魚価増減	90	-198	-25	83	214	-123	-14	128	84	-42
〃 対比 (%)	21.7	-20.9	-17.6	9.1	69.4	-26.8	-2.8	23.9	9.5	-9.1

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2024年3月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき網	船びき網	定置	養殖	その他	合計
北浦			2,407 232,522	0 24	14 7,751		158 69,307	0 7	1 2,425	2,581 312,036
島浦町		35 32,434	150 17,836	2 1,125			21 11,046	20 24,402	1 1,326	229 88,168
延岡				1 555	1 539	66 26,143			0 981	68 28,218
延岡市	13 7,052			0 56	3 1,246	33 15,998	116 55,444	0 113	3 2,728	167 82,636
庵川	14 5,604	64 42,019		0 11	5 2,459		11 7,248	16 11,079	5 4,007	114 72,427
門川		4 4,655		1 360	2 893				3 4,900	10 10,808
日向市	42 29,486	369 288,620		0 20			99 45,549	4 4,122	3 4,221	516 372,016
都農町		44 27,301		1 595					2 2,246	47 30,142
川南町		349 300,593		22 13,407	0 152				9 9,575	379 323,727
一ツ瀬				0 631	1 643				6 4,435	7 5,710
櫛浜				0 149		14 2,297			3 3,080	18 5,527
宮崎		33 19,227				94 23,180			6 10,629	133 53,036
宮崎市		11 6,182	429 56,218	2 1,340	1 655	26 4,103	7 6,729		1 1,349	477 76,575
日南市	116 61,204	186 102,295		4 4,864			13 7,135		12 9,064	330 184,562
南郷	621 307,992	105 52,094		16 16,887			78 36,829		12 13,884	832 427,686
外浦	168 72,783	18 8,257					14 9,077		0 85	199 90,202
串間市東		10 5,295		4 13,010			82 38,459		13 12,849	110 69,612
串間市				0 278	2 1,182	2 3,012	1 975	663 490,185	1 2,230	668 497,862
合計数量	974	1,227	2,986	54	29	234	597	704	82	6,887
〃 金額 (魚価)	484,121 497	888,971 724	306,576 103	53,313 994	15,520 539	74,734 319	287,795 482	529,908 753	90,013 1,094	2,730,950 397
前年数量	1,424	1,247	1,452	58	51	97	592	1,238	89	6,249
〃 金額 (魚価)	573,990 403	1,144,197 918	216,450 149	44,699 766	17,102 337	46,790 480	284,167 480	663,610 536	75,521 852	3,066,525 491
数量増減	-450	-20	1,534	-5	-22	137	5	-535	-6	638
〃 対比 (%)	-31.6	-1.6	105.6	-8.1	-43.3	140.2	0.8	-43.2	-7.2	10.2
金額増減	-89,868	-255,226	90,126	8,614	-1,582	27,944	3,628	-133,702	14,492	-335,575
〃 対比 (%)	-15.7	-22.3	41.6	19.3	-9.3	59.7	1.3	-20.1	19.2	-10.9
魚価増減	94	-193	-46	229	202	-161	2	217	243	-94
〃 対比 (%)	23.3	-21.0	-31.1	29.8	60.0	-33.5	0.5	40.5	28.5	-19.2

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2024年3月末の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	3月末累計			前年同月末との比較					
				昨年同月累計			増減		魚価 対比
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	%
北浦	6,293	824,313	131	4,772	703,630	147	1,521	120,682	-11.2
島浦町	723	310,280	429	593	315,009	531	130	-4,729	-19.2
延岡	133	51,388	385	44	29,562	670	89	21,827	-42.5
延岡市	282	139,417	495	142	81,989	577	140	57,428	-14.2
庵川	295	183,752	622	192	154,156	801	103	29,596	-22.4
門川	31	30,876	991	41	39,922	970	-10	-9,046	2.2
日向市	1,351	1,014,608	751	970	930,593	959	381	84,016	-21.7
都農町	124	86,857	699	108	91,145	841	16	-4,289	-16.9
川南町	1,023	796,548	779	832	912,784	1,097	190	-116,236	-29.0
一ツ瀬	21	16,603	801	20	14,650	741	1	1,953	8.2
憶浜	21	8,486	409	15	7,584	513	6	902	-20.4
宮崎	242	177,860	736	192	201,630	1,052	50	-23,770	-30.0
宮崎市	656	134,292	205	671	197,709	295	-16	-63,417	-30.4
日南市	935	594,599	636	925	585,757	633	10	8,842	0.4
南郷	1,454	759,450	522	1,714	783,151	457	-259	-23,701	14.3
外浦	435	203,091	467	420	177,276	422	15	25,815	10.7
串間市東	351	190,201	542	564	268,647	477	-213	-78,446	13.7
串間市	2,410	1,555,761	646	2,979	1,545,611	519	-569	10,150	24.4
合計	16,778	7,078,382	422	15,214	7,062,017	464	1,564	16,365	-9.1

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

日南支所集約型資材統合

資材事業の取扱いについては、近年における漁船の廃業や漁業者の減少、更には燃油高騰の影響を受けた買い控え等が相まって、漁業資材の取扱いが漸減している状況にあります。

このような中、取扱いに応じた事業体制の見直しを行うことで健全な経営運営の維持に努めるため、本年4月より延岡支所の資材事業は廃止し、日南支所へ統合を行いました。

統合により延岡支所の管轄地区漁協より要望のありました緊急性のある資材品のみを日南支所の委託在庫として延岡支所に保管しておりますが、資材品の受発注は日南支所にて対応いたしております。

つきましては、今後とも漁業者および会員 J F の負託に応じてまいりますので、更なる系統購買利用へのご理解・ご協力を重ねてよろしくお願いいたします。

なお、本所の資材事業につきましては、従来のおりとなりとなり、引き続き実務改善や要望等につきましては、会員 J F と慎重かつ丁寧な対応に努めてまいりますので引き続き本会資材事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本会オリジナル PB 商品『エコフィッシュ宮崎』が みやざきゲンキ TV で放送されました。

本会は、県内で水揚げされる低利用魚やマグロ等の未利用部位について水産資源の有効活用及び持続可能な漁業の支援を目的としたオリジナルPB商品『エコフィッシュ宮崎』を販売するオンラインショップを1月27日にオープンした。

1月末に県政記者クラブ（加盟社：12社）へプレスリリースをおこなっており、現在までに毎日新聞社や共同通信社の取材を受けている。今回、テレビ宮崎（UMK）が放送する日曜日の県政番組、みやざきゲンキTV（毎週日曜日/放送時間：AM9：35～9：50）で『健やかほっと便』というコーナーがあり、2024年4月21日（日）に放送されました。

ゴールデンウィーク前の放送となり、お土産やキャンプ・アウトドア向けの商材として本会のオリジナル商品が県内で幅広くPR出来ました。



未来につながる宮崎の魚を食べよう。

eco fish
MIYAZAKI



合併進捗状況について

県一漁協合併へ向けた説明会の開催及び実施

宮崎県一漁協合併推進協議会（会長：是澤喜幸）は去る12月25日に承認された合併基本計画書を基に以下の漁協を巡回し合併に向けた説明会を開催した。

巡回漁協

日付	訪問漁協	説明会
4月10日	JF 串間市東	理事会 説明会
4月25日	JF 串間市	理事会 説明会

合併財務調査の実施について

県一漁協合併へ向けた財務調査

宮崎県一漁協合併推進協議会（会長：是澤喜幸）は下記の日程において、各 JF を巡回し財務調査を実施した。

巡回漁協

日付	訪問漁協
3月18日	JF 南郷
3月19日	JF 外浦
4月15日	JF 延岡、JF 庵川
4月16日	JF 島浦町、JF 延岡市
4月17日	JF 日向市、JF 門川
4月22日	JF 都農町
4月23日	JF 日南市、JF 檳浜

宮崎県一漁協に 向けた検討が始まりました。

合併の 必要性

組合員の減少による漁協収入の減少が続いています。このため、漁協は、支出の削減と組合員負担の増加による経営改善努力を行っています。

しかし、施設の更新等、新たな投資を考えると厳しい状況であり、これまでの対応では限界があります。

このような状況を解決し、持続可能な体制とするためには県内漁協が結束して、県一漁協合併を実現する必要があります。

合併の目的

- ① 組合員負担を妥当なレベルとし、組合員の所得向上に貢献できる漁協経営の実現。
- ② 漁協の経営基盤を持続可能なものとするため、適切な事業利益の実現。
- ③ 将来に渡って職員の安定確保や育成ができる漁協の実現。



宮崎県一漁協合併推進協議会

第13回作業部会の開催

県一漁協合併推進協議会（会長：是澤 喜幸）は4月24日（水）に水産会館4階第1研修室において、標記会議を開催した。

協議、報告内容については以下のとおりである。

1. 協議事項

- (1) 各漁協巡回時に頂いた意見への見解について
 - ・ 県漁連への各漁協の外部出資の取扱いについて
- (2) 県一漁協合併基本計画書に基づく繰越欠損金の取扱いについて
- (3) 合併協議継続に関する意思確認について
- (4) その他
 - ・ 九州信漁連の目的積立金に関する周知について
 - ・ 模範定款例の変更に係る説明（県庁）
 - ・ 組合員資格審査の基準等について（県庁）

2. 報告事項

- (1) 財務調査の進捗報告について



宮崎県一漁協に向けた検討が始まりました。

合併の必要性

組合員の減少による漁協収入の減少が続いています。このため、漁協は、支出の削減と組合員負担の増加による経営改善努力を行っています。
しかし、施設の更新等、新たな投資を考えると厳しい状況であり、これまでの対応では限界があります。
このような状況を解決し、持続可能な体制とするためには県内漁協が結束して、県一漁協合併を実現する必要があります。

合併の目的

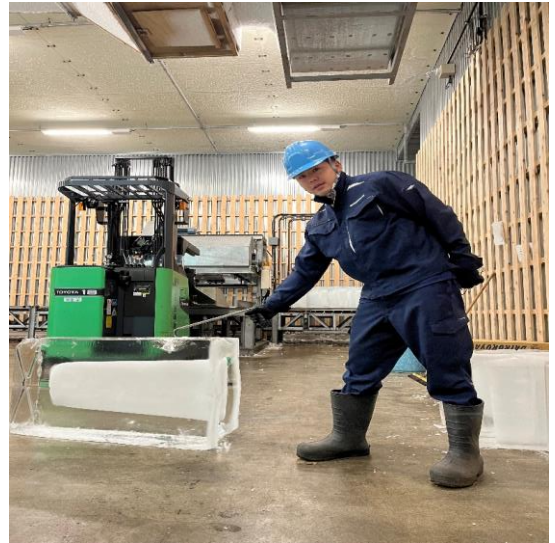
- ① 組合員負担を適当なレベルとし、組合員の所得向上に貢献できる漁協経営の実現。
- ② 漁協の経営基盤を持続可能なものとするため、適切な事業利益の実現。
- ③ 将来に渡って職員の安定確保や育成ができる漁協の実現。



新人紹介

氏 名： 井手来哉

所属部署： 宮崎事業所



「志望動機」「仕事を始めてみて感じたこと」「自己PR」など

<志望動機> 小さいころから海が好きで、海洋高校に入卒し海のことを学び海の仕事に就きたいと思っていました。

<入会後に感じたこと> 漁業者と関わる事が多く、今取れる魚など漁業者とコミュニケーションがとれて楽しい仕事だなと感じました。

<自己PR> 魚を食べる事が好きなのでこれからもいっぱい魚を食べたいです。

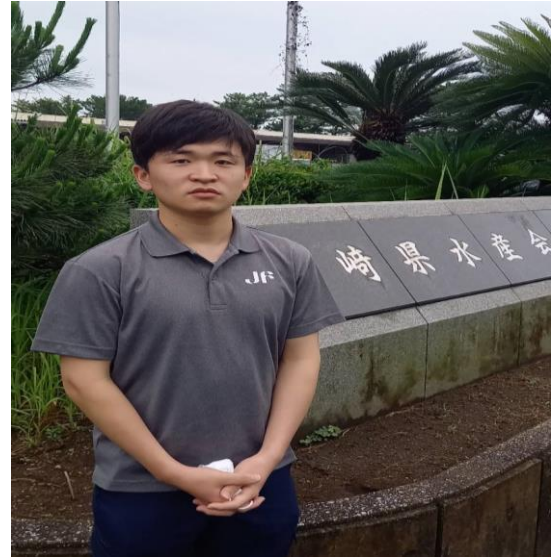
<趣味>・釣り・サーフィン

漁業関係者の皆様へ一言

全国的に一次産業において、高齢化や後継者問題などさまざまな課題があることは承知しております。現在、漁船に直接氷・油の供給をおこなう事業所へ配属され勤める中、少しでも生産者をサポートするためにも自分自身も日々成長し、水産業界が盛り上がるよう努めて参りたいと思っております。

氏 名： 野口晃希

所属部署： 販売事業部 直販課



「志望動機」「仕事を始めてみて感じたこと」「自己PR」など

<志望動機> 私の親戚も漁業関係の仕事をしており、少しでも力になれたらと思ったため。

<入会後に感じたこと> 職場の先輩方を始め、漁業者の方々はとても優しく温かい方が多かったこと。

<自己 PR> 常に向上心を持ち、自分の持つ能力を最大限に生かして頑張ります。

<趣味> 釣り

漁業関係者の皆様へ一言

まだまだ未熟ではありますがこの水産業界が盛り上がるように全力で頑張っていきますのでこれからよろしくお願いします。

「2023 年近海かつお一本釣漁業のビンナガ漁場分析」

－ 経営流通部 －

はじめに

本県所属船による近海かつお一本釣漁業の水揚げ量は 29 年連続日本一を記録しており、本県の漁業生産や地域の食文化等を支える重要な漁業です。操業は 2 月頃の薩南海域より開始し 11 月の三陸沖海域まで、広大な海域で魚群を追って移動しながら漁獲を続けます。この中でも、主に 5～7 月頃に行うビンナガを対象とした操業は、近年では年間の好不漁に大きく影響する非常に重要な位置を占めています。2023 年漁期はこのビンナガ漁が比較的好調であったこともあり、全体を通して非常に良好な結果となりました。

一方で、2023 年漁期のビンナガ漁場の形成状況は非常に特徴的であったことから、これを分析してビンナガの漁場形成要因を考察したので報告します。

2023 年漁期のカツオ・ビンナガ漁況

2023 年漁期のカツオ及びビンナガの漁獲量はともに前年を大きく上回り（図 1・図 2）、CPUE（1 隻・日あたりの水揚げ量）についても、カツオ・ビンナガ共に昨年、一昨年を大きく上回り、全体を通して好調な結果となりました。過去からの推移を見ると、カツオでは漁獲量・CPUE とともに概ね一定の水準であることに対し、ビンナガでは漁獲量・CPUE とともに大きな増減を繰り返しており、不安定な漁獲状況であることがわかります。

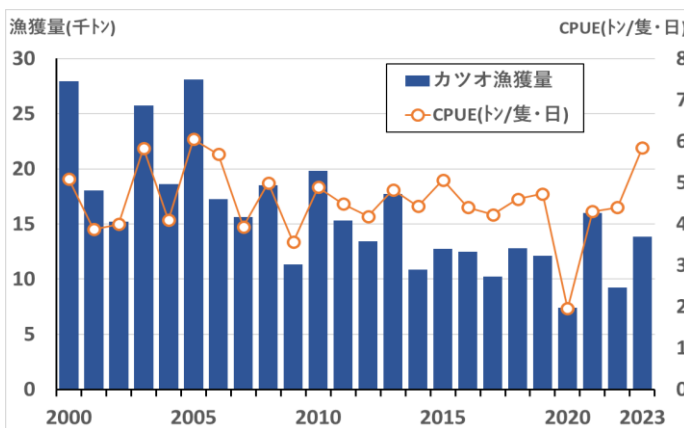


図 1 カツオの漁獲量及び CPUE の推移

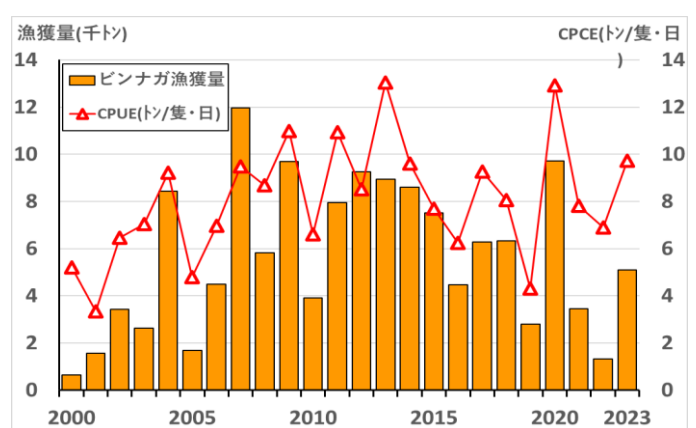


図 2 ビンナガの漁獲量及び CPUE の推移

2023 年漁期のビンナガ漁場形成状況

2023 年 5～6 月の近海かつお一本釣漁業の操業では、三陸～房総半島沖にビンナガの漁場が形成されました（図 3）。2023 年と同様にビンナガが豊漁であった 2020 年では漁場が 5 月で経度約 12°、6 月で経度約 8° と比較的広い範囲

に位置するのに比べ、2023年では5月で経度約 2° 、6月で経度約 3° と極めて狭い範囲内に集中していました。これは、2023年はビンナガがこの期間、西から東へほとんど移動せず、狭い範囲内にとどまり集中した漁場を形成していたことを示しています。

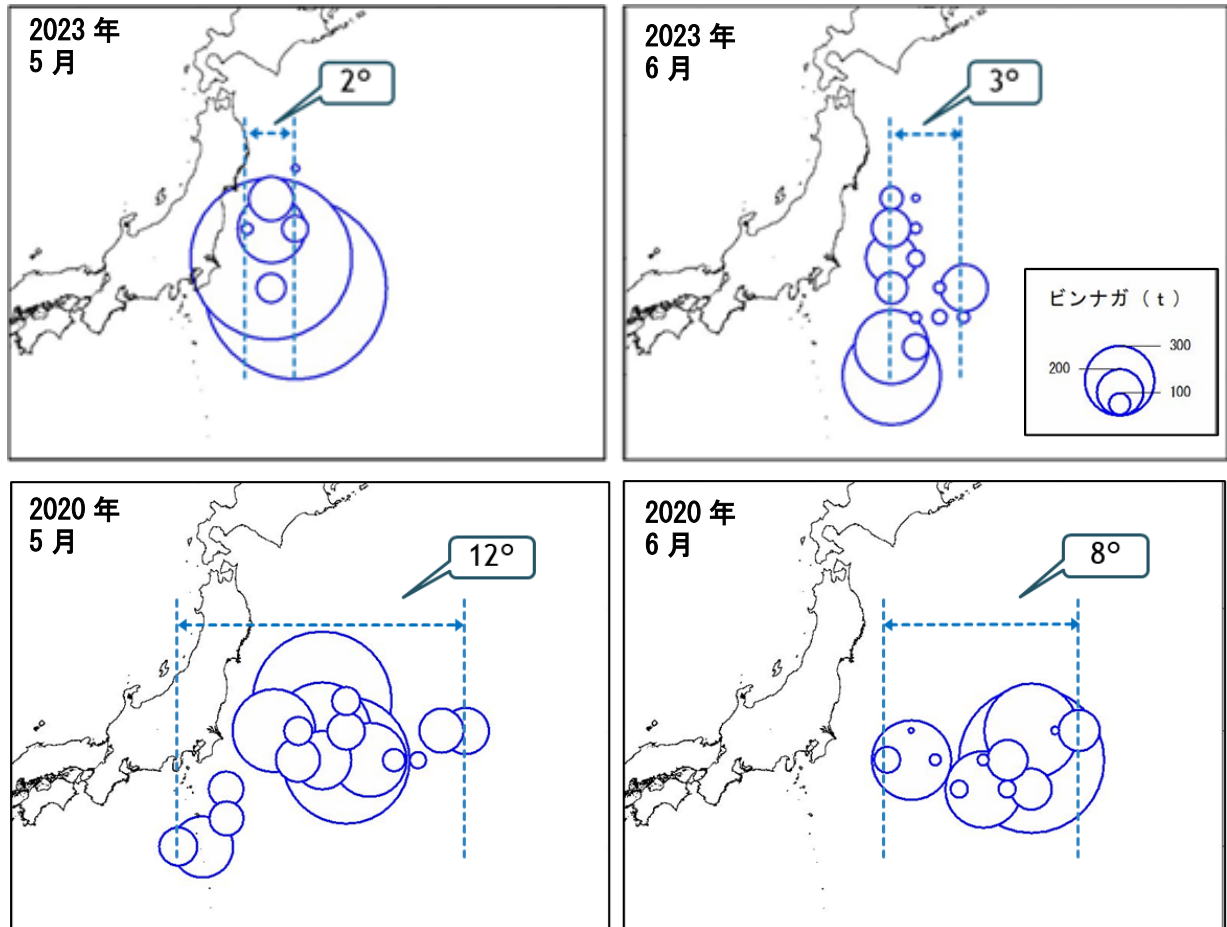


図3 2023年及び2022年のビンナガ漁場形成状況

水深100mの水温構造と漁場位置の推移

ビンナガの好適な水温は 18°C 前後であることが知られていますが、2023年の漁場位置において、この水温帯が生じたのは水深100m付近でした。このことから、この時期ビンナガは水深100m付近を主たる生息水深としていたことが予測されます。そこで、水深100mの水温構造とビンナガ漁場位置を経日比較したところ、5月中旬から下旬の漁期前半においては、ビンナガ漁場は巾着状に形成した 18°C 前後の水温域の内側に偏在しており、東側の冷水域の存在により東への移動が制限され、結果的に漁場が狭い範囲に集中したと考えられます。この巾着状の水域は6月以降徐々に開口部分が広がったため、東への移動の制約が無くなり、実際に漁場の位置も南、東へと移動していきました。また、それぞれの状況において、漁場位置は温度傾斜が大きい縁辺部分に集中して生じていることがわかりました(図4)。

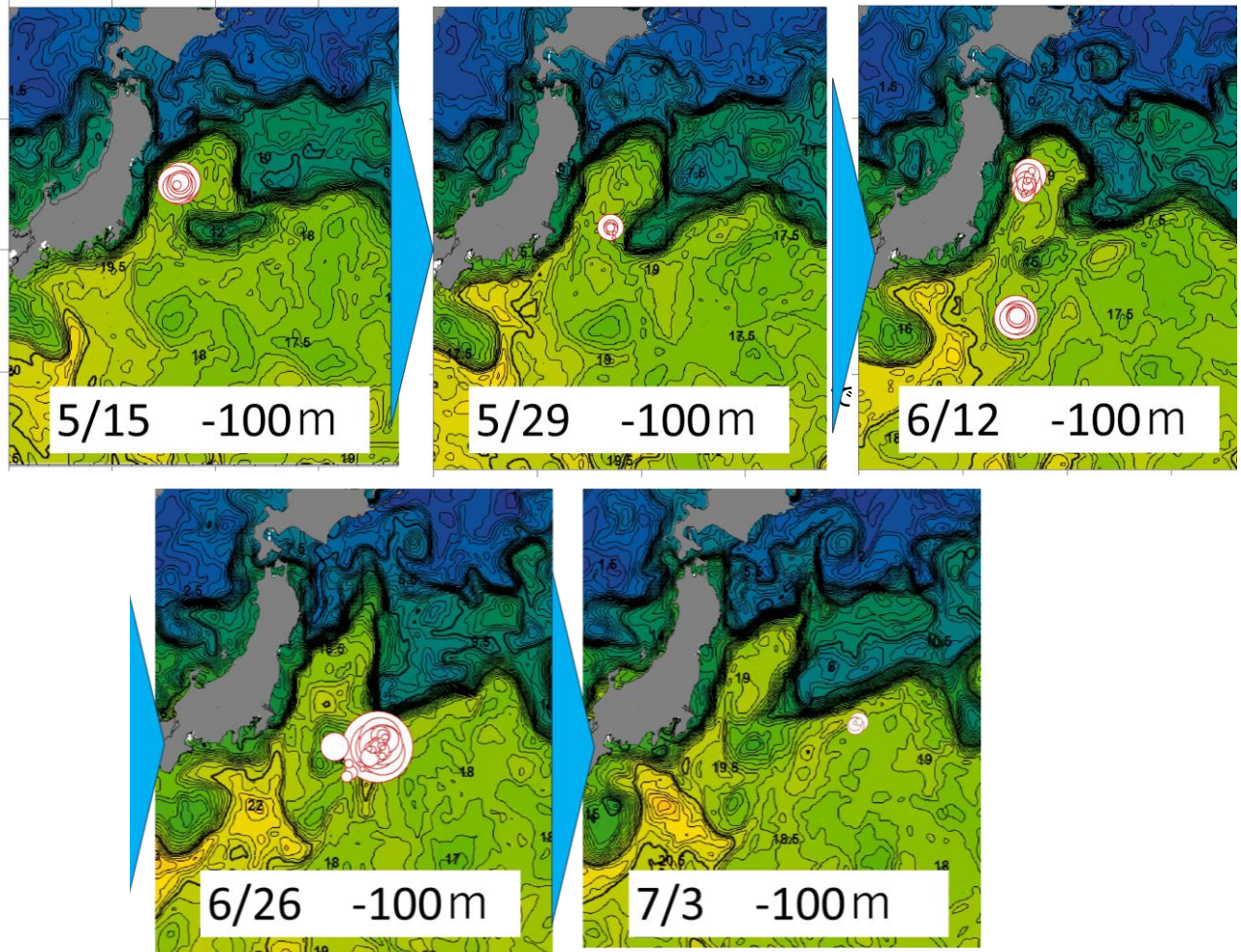


図4 水深 100m の水温構造と漁場位置の経日推移

おわりに

以上のことから、水深 100m（水温 18℃前後の水深帯）の水温構造を指標として、ビンナガの行動や漁場の形成状況を予測できる可能性が示唆されました。現在みやざき丸で取り組んでいる環境 DNA による調査では、ビンナガの初期来遊を察知する試みを進めており、本知見との組み合わせにより、みやざき丸による航海調査等において、より具体的な調査手法の検討や予測が可能になると考えております。今後、これら情報はカツオ・ビンナガの漁場探索支援に活用し、ひいては本県水産業の発展に貢献していきたいと考えております。

4月の動き（漁連関係）

24日

宮崎県一漁協合併推進協議会 第13回作業部会